

年度 2009 学期 後期	曜日・校時 木3	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	フランス語IV (FrenchIV)		
対象年次 2年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等)	2P18・19+2F27・28	科目分類	外国語科目(フランス語)
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:松藤 英恵/Eメールアドレス:cinema_naga2@hotmail.com /研究室:全学教育非常勤講師室 /オフィスアワー:木曜日 14:30~15:30			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい:前期(フランス語Ⅲ)の内容を継続して行います。文法の範囲を広げつつ、後期では、時間や道順を尋ねる、レストランで食事をする、買い物をする等の表現に加え、乗り物に乗る、電話をかける、ホテルなどの予約をする等、より実践的なコミュニケーション能力を身に着けます。また、前期に引き続き、生きたフランス語に親しめるよう、講義ではビデオや日用品、写真などの教材を利用し、口頭やジェスチャーを使つての表現などにも留意します。また、フランスの政治・経済・社会・歴史・文化・産業等の紹介も行います。</p> <p>授業方法:教科書、オリジナルのプリント教材の他、ビデオやCD、時事問題等の教材を毎回使用しながら授業を進めます。</p> <p>授業到達目標:実際にフランス語圏を旅行したり、生活したりする上で必要な表現を、口頭・筆記の両方で表現できるようになることが最大の目標です。文部科学省フランス語検定3級、フランス国民教育省フランス語資格試験 DELFA2合格できるよう指導します。</p>			
<p>授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>授業内容(概要):①練習問題オリジナルプリントを使つての文法解説と筆記演習、②教科書とCDを使つての発音練習、③同じく教科書とCDを使つてのヒアリング練習、④教科書及びオリジナルプリント、ビデオ教材を使用しての実践的な会話演習、⑤日用品、ビデオ教材、時事問題他様々な資料を使つてのフランスの政治・経済・社会・歴史・文化・産業等の紹介、の5つの要素を網羅して授業を進めます。</p> <p>第1回 オリエンテーション、フランス文化に親しむ、前期の復習 第2回 第2課 直接法半過去と大過去 第3回 " 複合過去と半過去 第4回 " ストラスブールの伝統料理 第5回 第3課 関係代名詞 第6回 " 命令形 第7回 " デижョンの文化とエスカルゴなどの伝統料理 第8回 第4課 現在分詞とジェロンディフ、疑問代名詞 第9回 " ボーヌ地方の文化とワイン 第10回 第5課 受動態 第11回 " 比較級と最上級 第12回 " ローヌ・アルプ地方の文化 第13回 電話のかけ方の表現/乗り物の切符を買う表現/時間の表現 第14回 口頭試験/道順、時間を尋ねる表現、レストランや買い物のシーンで使う表現、乗り物の切符を買う表現、電話の表現等、日常会話や旅行会話に必要な表現を、劇形式でジェスチャーも加えながら実践的に使用する力を身につける。 第15回 定期試験/文法の定着、長文読解、DICTEE の力をつける・自己紹介、日常会話や旅行会話に必要な表現を、記述することで、より正確に理解できるようにする。</p> <p>※注意!:上記のEメールアドレスには、一部の携帯電話を使つての送受信が出来ないことがあります。送受信できない場合は、別の携帯電話或いはパソコンのアドレスから送信し直して下さい。</p>			
キーワード	フランス語を使つて、世界にはばたこう!		
教科書・教材・参考書	教科書:前期に同じ、『Elle est gourmande!2(彼女は食いしん坊!2)』(朝日出版社) 辞書:仏和辞典を1冊、出来れば和仏辞典も購入すること。出来るだけ新しいもの。電子辞書は不可。 旺文社『ブチ・ロワイヤル仏和辞典』『ブチ・ロワイヤル和仏辞典』『ロワイヤル仏和中辞典』がお勧め。授業中に指示します。 なお、配布プリント、提出レポート等はすべてA4サイズに統一します。		
成績評価の方法・基準等	期末定期筆記試験の成績 50% 期末口頭試験の成績 40% 授業への取り組み方・意欲等 10%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	繰り返し復習することによって、フランス語を確実に自分のものとして定着させましょう。 日本のテレビや新聞、雑誌、インターネット等を使つて、フランス語圏の様々な時事問題や文化などの情報に、積極的に触れましょう。		